

令和7年度 高志中学校スクールプラン

【校訓】
克己 創造 敬愛

学校教育方針

- 1 地域社会、国際社会のリーダーとなる高い知性と豊かな人間性の育成
- 2 ふるさと福井への深い知識と大きな誇りの涵養
- 3 世界に通用する語学力と国際感覚の育成

育ってほしい生徒の姿

- 1 目標を持って自ら学び、考え、行動し、自分磨きをすることのできる生徒
- 2 様々な課題に立ち向かい、新しいものや考えを創り出すことのできる生徒
- 3 個性や考え方を認め合い、多様な人々と協力することのできる生徒

業務改善のための取組

- 学校業務の「教師が担うべきでない業務」の洗い出しと業務の精選
- 「早出・遅出勤務」の実施と年休・代休を取得しやすい環境づくりの推進
- 職員会議等の効率的運用の推進
- 教員の心の安定と業務の意義の検討による「働きがい」の再発見

人権教育の推進

- 自己肯定感向上のための取組
- 共感能力、想像力、人間関係調整力等育成のための取組
- 互いの良さを認め合える雰囲気醸成

【重点目標1】学習支援

目標を持って自ら学習フィールドを開拓する生徒の育成と、学びの深化の支援

具体的取組

- ①興味関心のある分野について、生徒自らが学びを深めることができるための支援を行う。
- ②中・高教員が授業互見等を行うことで、6年間を見通した学習支援を研究する。
- ③習熟度に応じた学習支援や発展的な学習支援を通して、学習意欲を高め、深い知識と幅広い技能の習得を図る。
- ④「使える英語」の習得を目指し、4技能をバランスよく伸長する支援を行う。

目標

- ①興味関心のある事柄を見つけ、読書や調べ学習、探究活動を行った生徒 80%以上
- ②授業互見等を行うことで、6年間を見通した学習支援を研究できた教員 80%以上
- ③学習意欲を高め、深い知識と幅広い技能を身につけることができた生徒 80%以上
- ④卒業時に英検準2級以上レベルに到達している生徒 100%

【重点目標2】生活支援

互いを思いやり、自ら考え、自ら律し、自分の属する集団の質を高めることができる生徒の育成

具体的取組

- ①生徒自らが企画・運営する学校行事を増やし、生徒が主体的に参加していると実感できるよう支援する。
- ②学校行事や部活動のあり方を工夫し、他学年の生徒や高校生との交流を通して、互いに認め合い、高め合う集団になるための支援を行う。

目標

- ①学級活動や委員会、部活動や学校行事に積極的に参加し、クラスや学校をよくするように主体的に考え行動できた生徒 80%以上
- ②学校行事や日常生活など学校生活の全活動の場で、学年・校種の枠を超えた交流により、相手の言動を認め、自分を高められたと感じた生徒 80%以上

【重点目標3】研究支援

「ふるさと福井」や社会の課題を見つけ、その解決に向けて行動しようとする生徒の育成

具体的取組

- ①地域社会やグローバル社会を多面的に理解し、発見した課題を解決しようとする態度や意欲を養うため、校内外での多様な挑戦や学年を超えた学びあいの機会を活用するとともに、「高志学」、教科、特別活動等の連携を深める。
- ②「高志学」を中心に教科学習を含めた学びの全体像を把握して、全ての活動経験を自らの力の伸長に生かそうとする姿勢を育成する。

目標

- ①「高志学」やその他の活動を通して「ふるさと福井」や社会の課題を見つけ、その解決に向けて具体的に考えることができた生徒 80%以上
- ②「高志学」、教科、特別活動等において、相互の関係や連携を意識した学習支援に取り組んだ教員 80%以上

【重点目標4】心理的安全支援

安心して学校生活を送れる環境づくりを進め、自己肯定感をもって自分らしく生きることのできる生徒の育成

具体的取組

- ①教育相談担当者で、気がかりな生徒についての情報共有や支援方法を検討し、支援員・スクールカウンセラーを含め全教員で協力して、対象生徒の相談・支援を行う。
- ②教育相談にかかるアンケート等を実施し、悩みや心配を抱える生徒の早期発見・対応に努める。
- ③教員や保護者対象の研修会を行い、生徒理解や気がかりな生徒の支援体制を整備し、支援の充実を図る。

目標

- ①「心の振り返りチェック」の実施 3回
- ②担当教員間で連携して教育相談・支援を行い、学級づくりや生徒支援に活かすことができたと感じる教員 80%以上
- ③生徒対象アンケートや教員研修等を通して生徒の理解が深まったと感じる教員 80%以上
- ④自分らしく学校生活を送ることができている生徒 80%以上

【重点目標5】学校教育DX推進

生徒の学びの支援や教職員の働き方改革支援の推進

具体的取組

- ①デジタル教材、アプリなどのツールを活用しながら興味関心を高め、学習領域を広げようとする生徒を育てるための方法等を研究する。
- ②Googleフォームなどのツールを利用した生徒、保護者対象の調査・アンケートやデジタル採点の利活用など効果のあった取組みを一層推進する。
- ③業務改善につながるデジタル関係の知見を共有する環境を整え、検討を推進する。

目標

- ①ICT機器等を活用して、生徒の学びを支援することが出来た教員 70%以上
- ②ICT機器等を活用して、業務の効率化や精度の高さなどに取り組むことが出来た教員 70%以上